

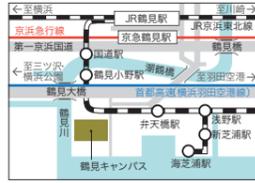
## ■ 舞岡キャンパス(木原生物学研究所)



- 理学部
- 生命ナノシステム科学研究科  
【生命環境システム科学専攻】
- 木原生物学研究所

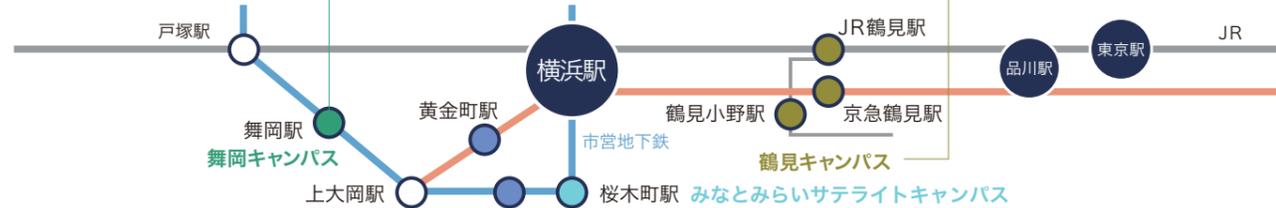
〒244-0813 横浜市戸塚区舞岡町641-12  
TEL.045-820-1900  
●市営地下鉄「舞岡駅」下車徒歩10分

## ■ 鶴見キャンパス



- 理学部
- 生命医科学研究科  
【生命医科学専攻】

〒230-0045 横浜市鶴見区末広町1-7-29  
TEL.045-508-7201、7202  
●JR京浜東北線「鶴見駅」東口および京浜急行「京急鶴見駅」前の8番バス乗り場から、川崎鶴見臨港バス鶴08系統「ふれーゆ」行きで約15分、「理研・市大学院前」下車  
●JR鶴見線「鶴見小野駅」下車徒歩15分



## ■ みなとみらいサテライトキャンパス



〒220-0012 横浜市西区みなとみらい2-2-1  
横浜ランドマークタワー7階  
TEL.045-681-7560  
●横浜高速鉄道みなとみらい線「みなとみらい駅」下車徒歩3分  
●市営地下鉄「桜木町駅」下車徒歩5分  
●JR京浜東北線・横浜線「桜木町駅」下車徒歩5分

## ■ 附属市民総合医療センター

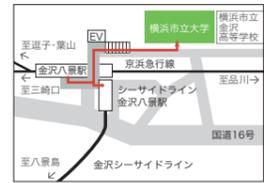


〒232-0024 横浜南区浦舟町4-57 TEL.045-261-5656  
●京浜急行「黄金町駅」下車徒歩10分 ●市営地下鉄「阪東橋駅」下車徒歩5分  
●市営バス「浦舟町」下車徒歩1分

## ■ 金沢八景キャンパス



- 国際教養学部
- 国際商学部
- 理学部
- データサイエンス学部
- 医学部(医学科・看護学科)※1年次
- 都市社会文化研究科  
【都市社会文化専攻】
- 国際マネジメント研究科  
【国際マネジメント専攻】
- 生命ナノシステム科学研究科  
【物質システム科学専攻】
- 生命環境システム科学専攻
- データサイエンス研究科  
【データサイエンス専攻】
- 【ヘルステータサイエンス専攻】



〒236-0027 横浜市金沢区瀬戸22-2  
TEL.045-787-2311  
●京浜急行「金沢八景駅」下車徒歩5分  
●シーサイドライン「金沢八景駅」下車徒歩5分

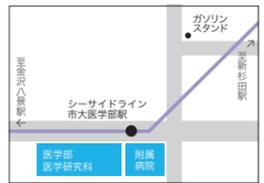
## ■ 福浦キャンパス



## ■ 附属病院



- 医学部(医学科・看護学科)
- 医学研究科[医科学専攻][看護学専攻]
- 先端医学研究センター



〒236-0004 横浜市金沢区福浦3-9  
福浦キャンパス TEL.045-787-2511  
附属病院 TEL.045-787-2800  
●シーサイドライン「市大医学部駅」下車徒歩1分



# 公立大学法人 横浜市立大学 大学院

2026年度 医学研究科 医科学専攻 研究科案内



医科学は現在、基礎研究とその臨床応用・開発研究が最も盛んな科学分野の一つです。本医科学専攻が目指すことは、基礎研究から臨床研究へ、臨床現場から研究室への双方の視点を持ち、さらには医療が行われる社会とのつながりを俯瞰し、課題解決に向けて飽くなき努力を続けることのできる独創性と人間性の豊かな人材を育成することです。

## DEAN'S MESSAGE



医学研究科長 後藤 温

本学医学研究科では、病気のメカニズムを解明する基礎医学研究、疾患の予防・診断・治療を目指す臨床医学研究、社会が人々の健康に与える影響を探求する社会医学研究、地域の保健医療福祉の課題解決を通じて人々の健康を支える看護学研究など、多様な研究を推進しています。また、国内外の研究機関・研究者との共同研究や人材交流を積極的に進め、グローバルな展開を強化しています。

本研究科は、科学的な探究による「知の創造」を推進し、質の高い健康と幸福(ウェルビーイング)の実現に向けた諸課題の解決を通じて社会への貢献を目指しています。

近年、生成AI技術に象徴されるように、科学技術や情報科学の進展が医学・医療分野に大きな影響を与えています。この状況下で重要なのは、情報の受け手にとどまらず、自らの研究を通じて新たな医学的知見を発見・発信する姿勢です。そのためデータサイエンスのリテラシーが不可欠であり、本研究科では他の研究科と連携し、文部科学省のJ-PEAKS事業の一環として「よこはまデータサイクル」を推進しています。

学生および研究者が研究倫理を遵守しつつ、各研究領域で実践力を身につけ、自立した研究者として成長できるよう支援します。



医科学専攻  
修士課程専攻長 井濱 容子

医科学専攻修士課程は、医学部医学科以外の大学を卒業し、医学研究の道を志す学生のために設けられた2年間のコースです。本課程では、生命現象の本質的なメカニズムを解明する基礎研究から、がん・神経疾患・自己免疫疾患などの難治性疾患の病態解明を目指す応用研究まで、医学の未来を切り拓く先駆的な研究を展開しています。本学は、国際社会に貢献できる高度な研究者の育成を使命とし、その一環として、国際学会や共同研究のための海外渡航の支援制度を設けています。修了生は国内外の最前線で活躍し、医学研究の発展に寄与しています。

海を望む洗練された環境を誇る福浦キャンパスで、世界を舞台に飛躍する研究に挑んでみませんか？



医科学専攻  
博士課程専攻長 横山 和秀

本学の医科学専攻博士課程では医学に関する先進的、学術的な研究を推進し、高度の専門的知識、技術を備えた医学研究者、教育者を養成します。また、横浜市立大学は国際化を目指しており、国際的に通用する優れた研究者の育成にも力を入れています。そのため学内外でグローバル経験を積めるさまざまな取り組みを行っており、海外の教育研究機関・国際機関と連携しています。

本専攻では、大学院生に正しい実験姿勢を身につけ、自立的に独創的な研究展開ができる能力が身につくよう、指導を行っています。本学は、地域中核・特色ある研究大学強化促進事業(J-PEAKS)に採択され、日本の研究を牽引していく立場にあります。横浜市立大学大学院医科学専攻で大学院生として研究し、将来日本の研究をリードする人材になってくれることを期待しています。

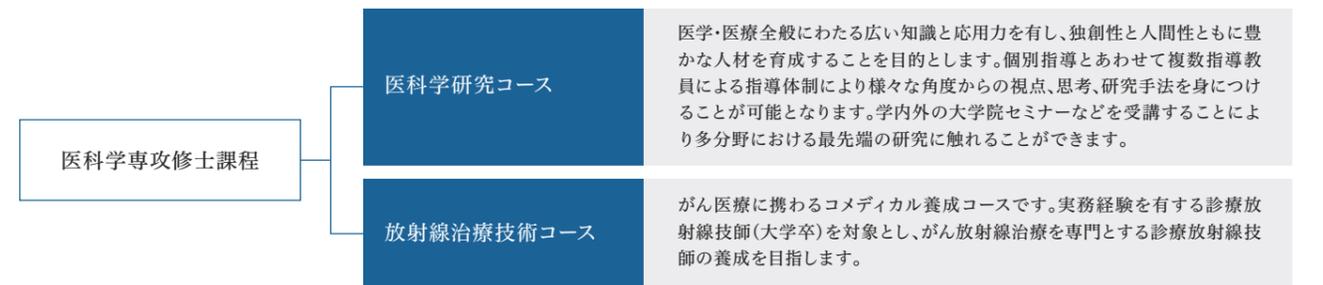
# 医学研究科 医科学専攻

## 医科学専攻修士課程

医科学、医薬品食品の基礎研究、臨床開発の分野で貢献できる研究者、高度専門職業人を育成

修士課程は、医学部医学科以外の大学卒業生(すなわち学士を取得した人)で、医学研究を希望する学生のために開かれた2年間のコースです。修了生は博士課程に進学、あるいは企業や研究所などにおいて研究開発に携わります。本専攻の特徴は、ヒトの生物学と臨床現場で遭遇する未知の現象や疾患の発症メカニズムを視野に入れ、生命個体をシステムとして解明する研究分野を扱う点にあります。

### ■コース編成



### ■修士論文研究テーマ例(令和6年度)

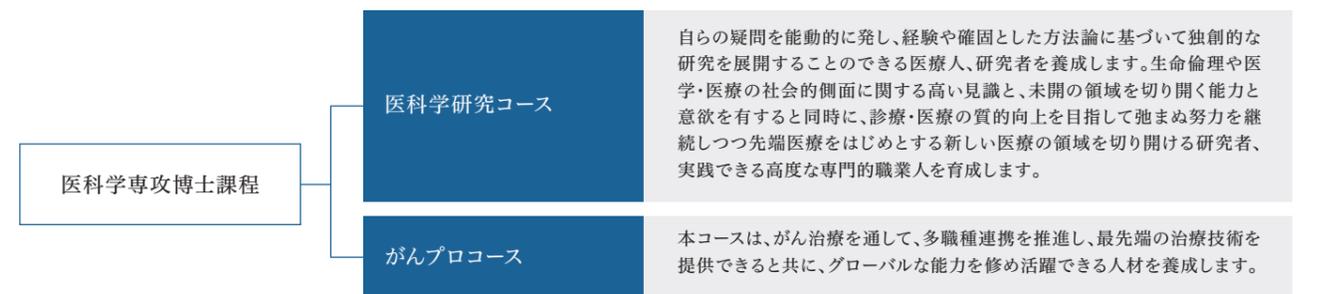
- Little elongation complexのコンポーネントICE2の機能解明
- ΔFLEマウスを用いたLeydig細胞非存在下でのin vitro精子形成
- 膵臓癌における腫瘍関連マクロファージを標的とした治療法を含む集学的治療法の開発を目的とした既存の薬剤との併用療法の検討
- 重症薬疹における単球・マクロファージの機能および病態解析
- マウス由来膵臓オルガノイドにおけるオートファジー
- Rapid detection of neutralizing antibodies against influenza viruses using HiBiT-tagged virus-like particles
- 非定型抗精神病薬がゼブラフィッシュにおける性欲減退に及ぼす影響とHPG軸、及び神経伝達物質への関連メカニズムの探索
- ポリコム遺伝子構成因子Ring1Bの精子減数分裂における分子生物学的な機能の解明
- リアルワールドデータを外部対照に用いる臨床試験の結果の解釈に対するE-valueの有用性と課題の抽出
- 2型糖尿病患者および糖尿病モデルマウスにおける血清中の膵β細胞量制御因子の検討

## 医科学専攻博士課程

医学、医療分野の発展に貢献できる指導者を育成

博士課程は、大学の医学部医学科・歯学部歯学科・薬学部薬学科または獣医学部獣医学科(6年課程)・および大学院修士課程または博士前期課程を修了した方を対象とします。本課程の目指すことは、修士あるいは博士前期課程での取り組みや、臨床現場の経験から発する疑問や発想を発展・深化させ、独自の視点をもとに研究を展開することのできる独創的かつ人間性豊かな研究者・教育者および指導者・高度な専門的医療人を育成することにあります。

### ■コース編成



### ■博士論文研究テーマ例(令和6年度)

- NPM1融合タンパク質はXPO依存性にHOX遺伝子活性化をもたらす骨髄性白血病を誘導する
- 抗体を用いたin situビオチン標識法によるマルチオミクス解析によるカハール体形成メカニズムの解明
- 口腔扁平上皮癌におけるEP4, CALML6とミトコンドリア動態の解析
- 初学者のESD技術向上における新たなESDトレーニングモデルの有用性
- 成人白質脳症患者におけるNOTCH2NL2遺伝子内のGGCリピート伸長の検討
- カベオリンサブドメインに着目した乾癬炎症制御のメカニズム解析
- ベーチェット病における疾患活動性および血清IL-6値と重症病変炎症発生の関連
- 膵臓関連線維芽細胞におけるSTINGの活性化は抗腫瘍免疫を高めることで抗腫瘍効果を発揮する
- アファチニブ治療を受けた非小細胞肺癌患者における上皮成長因子受容体遺伝子変異検出のためのリキッドバイオプシーの検討: 多施設共同前向き観察研究
- VEXAS症候群における細胞死とDAMPsの亢進は治療標的としての可能性を示唆する
- 両アレリックRFC1異常リピート伸長患者におけるRNA fociの形成について

## 医科学専攻修士課程

基礎研究・臨床研究両方の側面から、未だ治療法のない患者様のための新薬の研究を行いたい



鳥越 真貴子

医学研究科医科学専攻  
修士課程2年  
微生物学教室  
東京薬科大学 生命科学部卒業

家族が病気を抱え、患者本人のみならず家族の負担の重さを感じ、未だ発症機序が分からず有効な治療法のない病気の研究を行うため、医学研究科を志望しました。

本研究科の特徴として、臨床医や研究医として日々患者様と接し、臨床研究や基礎研究に従事されている方々から学べるため、知見が広がります。

また、患者様の実際のデータを用いて研究を行うことができ、自分の研究が社会にどう還元されるか意識しながら取り組むことができます。

将来は、大学院で学んだことを活かし、心身の健康の維持に寄与する研究開発を行う予定です。

## 修了後の主な進路

## 【就職】

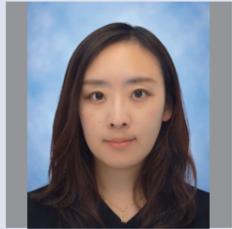
アース製薬株式会社  
キャノンメディカルシステムズ株式会社  
グラクソ・スミスクライン株式会社  
大鵬薬品株式会社  
中外製薬株式会社  
日本調剤株式会社  
ライオン株式会社  
ロシュ・ダイアグノスティクス株式会社  
カゴメ株式会社  
味の素株式会社  
帝人株式会社  
オリンパス株式会社  
富士通株式会社  
株式会社日立製作所  
全日本空輸株式会社  
楽天株式会社  
株式会社三井住友銀行  
株式会社野村総合研究所  
横浜市教育委員会

## 【進学】

横浜国立大学大学院  
北里大学

## 医科学専攻博士課程

研究を通じて自分自身の臨床の幅を広げ、そして乳癌診療の発展に貢献したい



川島 圭

医学研究科医科学専攻  
博士課程2年  
消化器・腫瘍外科学教室  
群馬大学 医学部卒業

手術に携わりたいとの思いから外科医を志しました。しかし、癌診療、特に乳癌診療では、手術だけでなく放射線治療や薬物治療を組み合わせた集学的治療が不可欠です。新たなデータが日々世界中から発信され、治療法は急速に進歩しています。こうした最新の知見を理解し、日々の診療で生じるクリニカルクエストを追究するため、私自身も研究に従事する期間を設けたいと考え、博士課程に進学しました。現在はバイオインフォマティクスを用い、腫瘍組織から抽出したRNAデータのトランスクリプトーム解析を行っています。研究を通じて、実臨床に還元できる新たな視点を得ることを目指しています。

## 修了後の主な進路・所属先

横浜市立大学附属病院  
横浜市立大学附属市民総合医療センター  
横浜市立脳卒中・神経脊椎センター  
独立行政法人国立病院機構 横浜医療センター  
独立行政法人労働者健康安全機構 横浜労災病院  
独立行政法人地域医療機能推進機構 横浜保土ヶ谷病院  
独立行政法人地域医療機能推進機構 埼玉メディカルセンター  
独立行政法人医薬品医療機器総合機構  
国立保健医療科学院  
国立大学法人東京科学大学  
国立大学法人京都大学  
国立大学法人神戸大学  
公益財団法人がん研究会 有明病院  
国立成育医療研究センター  
独立行政法人国立病院機構 北海道がんセンター

一般財団法人脳神経疾患研究所 附属南東北がん陽子線治療センター  
神奈川県立がんセンター  
神奈川県立こども医療センター  
横須賀市立市民病院  
茅ヶ崎市立病院  
小田原市立病院  
大和市立病院  
国家公務員共済組合連合会 横浜南共済病院  
社会福祉法人恩賜財団済生会 横浜市南部病院  
国家公務員共済組合連合会 横須賀共済病院  
特定医療法人財団慈啓会 大口東総合病院  
国際医療福祉大学 熱海病院  
NTT 東日本関東病院  
エイソーヘルズケア株式会社  
アステラス製薬株式会社  
大正製薬株式会社

## 医学研究科医科学専攻 入試結果【修士課程】

年度	課程	区分	募集人員	志願者	受験者	合格者	入学者
令和7年度	修士課程	第1期	15	10	10	9	7
		第2期	5	1	1	1	1
		第3期	若干名	2	2	2	1
		合計	20	13	13	12	9

年度	課程	区分	募集人員	志願者	受験者	合格者	入学者
令和6年度	修士課程	第1期	15	13	13	13	12
		第2期	5	10	10	4	2
		第3期	若干名	3	3	3	3
		合計	20	26	26	20	17

年度	課程	区分	募集人員	志願者	受験者	合格者	入学者
令和5年度	修士課程	第1期	15	19	19	17	13
		第2期	5	5	4	2	2
		第3期	若干名	3	3	3	2
		合計	20	27	26	22	17

## 医学研究科医科学専攻 入試結果【博士課程】

年度	課程	区分	募集人数	志願者	受験者	合格者	入学者
令和7年度	博士課程	第1期	60	63	63	62	59
		第2期	20	35	35	34	34
		合計	80	98	98	96	93

年度	課程	区分	募集人員	志願者	受験者	合格者	入学者
令和6年度	博士課程	第1期	60	47	47	47	46
		第2期	20	34	34	34	33
		合計	80	81	81	81	79

年度	課程	区分	募集人員	志願者	受験者	合格者	入学者
令和5年度	博士課程	第1期	60	37	37	37	37
		第2期	20	24	24	24	24
		第3期	若干名	16	16	16	16
		合計	80	77	77	77	77

## 協定研究機関・連携大学院

## 協定研究機関(例)

## サンフォード・バーナム医学研究所



サンフォード・バーナム医学研究所は横浜市の姉妹都市であるカリフォルニア州サンディエゴ市に本拠を構える著名なバイオテクノロジー研究所です。YCUとサンフォード・バーナム研究所はMOU(覚書)を締結し、特徴である再生医学、がん、免疫、神経疾患研究分野を中心として、研究者交流および学生派遣を中心とした連携事業の促進を図っています。

## カリフォルニア大学サンディエゴ校(UCSD)



長年、姉妹校として学部生のサマースクール、語学留学の受け入れ、臨床実習の受け入れなど学部教育では従来より相互的な連携を行ってきました。今後、大学院教育でも研究者交流をはじめ、教育・研究における連携が期待されています。

## 連携大学院 医学研究科専攻では、多くの機関と協定を締結し、共同での研究指導、講義を行うなど、双方が連携することにより活発な人的交流、人材育成等を行っています。

量子医科学研究所	国立健康危機管理研究機構	公益財団法人がん研究会 がん研究所	理化学研究所
神奈川県立こども医療センター	医薬品医療機器総合機構(PMDA)	神奈川県立がんセンター臨床研究所	国立生育医療研究センター
横浜市立市民病院	横浜市立脳卒中・神経脊椎センター	国立精神・神経医療研究センター	神奈川県立循環器呼吸器病センター
あいち小児保健医療総合センター	国立研究開発法人国立がん研究センター がん対策研究所	国立病院機構横浜医療センター	



## 組織学

連絡先 TEL : 045-787-2567 E-mail : soshiki1\*yokohama-cu.ac.jp

生殖細胞から初期胚の正常な発生を可能にする仕組みを、エピジェネティクスの観点を中心とした制御機構から解き明かす研究を主に行っています。



- 主指導教員 大保 和之 教授
- 指導教員 富澤 信一 講師  
尾野 道男 助教  
黒羽 一誠 助教
- 特別研究科目名 微細形態学

- 研究テーマ
  - エピジェネティクスが幹細胞の運命決定を制御する機構の解析
  - 生殖細胞のエピジェネティックな状態が初期胚の発生を制御する仕組みの解明
  - 無気肺、肺線維症、慢性閉塞性肺疾患の発症機構の解析



## 神経解剖学

連絡先 TEL : 045-787-2571 E-mail : kaibou\*yokohama-cu.ac.jp

脳や神経系の解剖学を専門としており、様々な動物の運動や感覚のしくみを調べたり、中枢神経系の再生を目指した研究を行っています。



- 主指導教員 船越 健悟 教授
- 指導教員 井村 幸介 講師  
滝口 雅人 助教  
武田 昭仁 助教
- 特別研究科目名 神経解剖学

- 研究テーマ
  - 中枢神経損傷における軸索再生機構の解析
  - 中枢神経損傷における代償機構の解析
  - 自律神経系の発達機構の解析
  - 自律神経系の比較解剖学的解析



## 循環制御医学

連絡先 TEL : 045-787-2575 E-mail : junseiri\*yokohama-cu.ac.jp

循環器病学や腫瘍学を中心に疾患のメカニズム解明や治療のための医療機器の開発に幅広く取り組んでいます。ひろく「役に立つ学問」を目指しています。



- 指導教員 梅村 将就 准教授
- 特別研究科目名 循環制御医学

- 研究テーマ
  - 交流磁場をがん治療に応用した脳腫瘍治療のための医療機器開発 (医工連携・産学連携による侵襲のない新しいがん治療装置の実用化)
  - 腫瘍免疫におけるPD-L1 (Programmed cell Death ligand 1) の調節機構の解明
  - 心臓や腫瘍におけるCa<sup>2+</sup>チャネルOrai 1の機能解析
  - 虚血が脳血管の内皮細胞に与える影響とそのメカニズム解析
  - 加熱式タバコが生体に与える影響とそのメカニズム解析



## 生理学

連絡先 TEL : 045-787-2579 E-mail : seiri2\*yokohama-cu.ac.jp

複雑な脳の機能を明らかにしていくことを目的とし、心の働きがどのようなメカニズムで起こっているのかということを研究しています。



- 主指導教員 高橋 琢哉 教授
- 指導教員 阿部 弘基 准教授  
中島 和希 講師  
太田 航 助教  
波多野 真依 助教
- 特別研究科目名 生理学

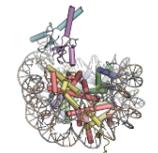
- 研究テーマ
  - シナプス機能の制御を利用したリハビリテーション効果促進薬の開発
  - AMPA受容体をヒト生体脳で可視化するPET probeの開発
  - 同PET probeを用いたヒト精神疾患横断的研究、てんかん焦点診断補助薬開発を目指した臨床研究・治験および脳卒中・神経変性疾患の機能代償野同定を目指した臨床研究
  - ヒトAMPA受容体PETデータに立脚した精神疾患、てんかん、脳卒中回復過程の動物モデル研究



## 生化学

連絡先 TEL : 045-787-2591

細胞シグナルによる転写制御機構と、その異常によるがんなどの疾患の発症機構及び治療薬の開発について、分子構造の視点から研究しています。



- 指導教員 仙石 徹 准教授  
佐藤 光 助教  
濱田 恵輔 助教
- 特別研究科目名 生化学

- 研究テーマ
  - 細胞の増殖・分化とその異常としてのがん化、奇形の発生に関する分子機構解析
  - 転写因子とエピジェネティック因子による転写制御機構の分子構造的解析
  - 転写制御因子に対する分子標的薬の開発
  - 遺伝性疾患におけるタンパク質のアミノ酸変異に関する計算科学的解析



## 分子生物学

連絡先 TEL : 045-787-2597

生命機能を司る遺伝子発現制御機構を分子から細胞、組織、個体、疾患レベルまで解明し、その破綻による疾患発症メカニズムを明らかにすることを目指しています。



- 主指導教員 高橋 秀尚 教授
- 指導教員 廣瀬 智威 講師  
鈴木 秀文 講師  
堀内 恵子 助教  
秋山 智彦 助教
- 特別研究科目名 分子生物学

- 研究テーマ
  - 遺伝子発現において中心的な役割を果たす転写制御機構の解明
  - ゲノミクス、プロテオミクス、バイオインフォマティクスを活用した転写制御機構の高精細解明
  - 核内構造体構成因子の網羅的同定とその機能解明
  - 転写制御因子の分子から細胞、組織、個体レベルまでの機能解明
  - 受精卵を用いた転写制御因子の初期発生における機能解明
  - 転写制御の破綻によって引き起こされる疾患発症メカニズムの解明



## 薬理学

連絡先 TEL : 045-787-2593 E-mail : tokudome.tak.lr\*yokohama-cu.ac.jp

中枢-末梢連関に着目し、心疾患・癌・アレルギーの新規治療法開発を目指します。



- 主指導教員 徳留 健 教授
- 指導教員 増川 太輝 講師  
柴田 智博 助教  
吉田 光一 助教
- 特別研究科目名 薬理学

- 研究テーマ
  - 心疾患・がん・アレルギー疾患の新規治療標的の探索
  - ナトリウム利尿ペプチドの臓器保護作用の分子メカニズム解明と治療応用
  - ナトリウム利尿ペプチドの中枢神経系に対する作用の解明
  - 摂食促進ホルモン「グレリン」の生理・薬理作用解析
  - グレリンの中枢神経系・自律神経系に対する作用の解明



## 微生物学

連絡先 TEL : 045-787-2602 E-mail : asano.ken.vq\*yokohama-cu.ac.jp

自己vs非自己の識別機構と、その異常による生体恒常性の揺らぎを明らかにします。



- 主指導教員 浅野 謙一 教授
- 指導教員 島田 勝准 教授
- 特別研究科目名 分子生体防御学

- 研究テーマ
  - ウィルス-宿主相互作用を基盤としたウィルス複製機能の解明
  - 自然免疫細胞産生をコントロールする病原体由来産物とそのセンサー機構探索
  - 炎症性腸疾患の病態形成における制御性単球の役割の解析
  - 病原体の免疫回避機構の解明と対抗策開発



## 免疫学

連絡先 TEL : 045-787-2614 E-mail : meneki\*yokohama-cu.ac.jp

免疫細胞の分化や応答の分子機構とその破綻による疾患について、転写因子による遺伝子発現調節の観点で研究しています。



- 主指導教員 田村 智彦 教授
- 指導教員 西山 晃 准教授  
藩 龍馬 講師  
奥田 博史 助教  
佐藤 豪 助教
- 特別研究科目名 免疫学

- 研究テーマ
  - 免疫細胞特にミエロイド系細胞(樹状細胞、単球、顆粒球)の分化・応答機構、ひいては免疫系の範疇を超えた基本原理を、転写因子やクロマチンに注目した遺伝子発現制御の観点で解明
  - がん(肺癌・子宮癌・白血病など)における腫瘍免疫の分子機構解明と新規がん免疫療法開発
  - 自己免疫疾患(SLEなど)や拡張型心筋症の病態解明と新規治療法開発
  - 笹田 哲朗 連携大学院客員教授(神奈川県立がんセンター臨床研究所、045-520-2222) がん免疫療法の開発、バイオマーカー探索やメカニズム解明
  - 梁明秀 連携大学院客員教授(国立健康危機管理研究機構、042-848-7060) ヒトウイルス感染症の理解や宿主因子の解析



## 分子病理学

連絡先 TEL : 045-787-2587 E-mail : tamai.aya.ld\*yokohama-cu.ac.jp

“病理診断学が研究を基盤とした臨床であること”  
“病理学は病理形態を含めた統合的理解が求められること”を意識して研究を行っています。



- 主指導教員 藤井 誠志 教授
- 指導教員 原田 丈太郎 助教  
石山 貴博 助教  
高瀬 宙希 助教  
村岡 枝里香 助教  
新井 拓真 助教
- 特別研究科目名 分子病理学

- 研究テーマ (がんの病理学的研究)
  - マルチオミクス解析を基盤とした治療病理学に資する研究
  - 臨床・病理協働による新規診断学に関する研究
  - 病理組織標本から新規病理分類を構築する研究
  - 病理学的視点を活用するゲノム医療に資する研究
  - 病理学とAIの協働による“あたらしい病理学のかたち”を創る研究



※メールでお問い合わせの際は、アドレス内の「\*」を「@」に変えてお送りください。



## 臓器再生医学

連絡先 TEL : 045-787-2784 E-mail : tsato\*yokohama-cu.ac.jp

創る・造る・作ること(再生)によって理解が進み、さらに良いものを目指して試行錯誤する。再生医学の楽しさと厳しさがそこにあります。

	■指導教員	佐藤 卓也 講師	■研究テーマ	●体外での精子形成法の開発
	■特別研究科目名	臓器再生医学		●ES/iPS細胞からの生殖細胞と精巣構成体細胞の創出
				●マイクロ流体システムによるミニチュア臓器の作製(Organ on a Chip)



## 遺伝学

連絡先 TEL : 045-787-2606 E-mail : iden\*yokohama-cu.ac.jp

先端的ゲノム解析手法を駆使してヒト疾患の原因解明に精力的に取り組んでいます。遺伝性疾患等の責任遺伝子を次々と解き明かしています。

	■主指導教員	松本 直通 教授	■研究テーマ	●様々な希少遺伝性疾患の原因解明	●神経変性疾患の原因解明	●先端的な遺伝学的解析手法の開発		
	■指導教員	水口 剛 准教授 濱中 耕平 講師 藤田 京志 助教 興水 江里子 助教		●次世代シーケンス技術(ショートリード・ロングリード)	●シーケンス情報解析	●オープンカルゲノムマッピング(理化学研究所連携大学院)		
	■特別研究科目名	遺伝学		1.がんゲノムおよび免疫ゲノム解析(中川英刀客員教授03-5449-5785)	2.ファーマコゲノミクス(延田泰誠客員教授045-503-9597)	3.多因子疾患のゲノム解析(桃沢幸秀客員教授045-503-9326)	4.循環器疾患関連遺伝子とバイオインフォマティクス(伊藤薫客員教授045-503-9347)	5.臨床応用を見据えたゲノム統計解析と機械学習(寺尾知可史客員教授045-503-9553)



## 臨床統計学

連絡先 TEL : 045-787-2572 E-mail : HP参照

医学研究における実課題に対して、統計的アプローチを用いた課題解決に関する研究を行っています。

	■主指導教員	山本 紘司 教授	■研究テーマ	●頻度流およびベイズ流臨床試験のデザインと解析に関する方法論の研究	
	■指導教員	三枝 祐輔 講師 篠田 覚 講師 武田 裕里子 助教		●実際の臨床試験や疫学研究などを通じた方法論の応用研究	
	■特別研究科目名	臨床統計学		●レギュラトリーサイエンス上の統計的課題解決のための研究	●既存の解析手法に対する性能評価を通じた最適手法の提案



## 法医学

連絡先 TEL : 045-787-2618 E-mail : legal\*yokohama-cu.ac.jp

多くの法医解剖を実施しています。法医学実務から想起され、実務に還元できる研究を行っています。

	■主指導教員	井濱 容子 教授	■研究テーマ	●小児の突然死に関する研究		
	■指導教員	前田 一輔 助教 田邊 桃佳 助教 國中 光 助教		●ウイルス感染症に関する遺伝子解析		
	■特別研究科目名	法医学		●海洋法医学に関する研究	●死後画像診断に関する研究	●法中毒学的研究



## 医学教育学

連絡先 TEL : 045-787-2626

「次世代の医師の教育はどうあるべきか」をテーマに、基礎から臨床にわたる行動情報科学分野に類する幅広い研究を行っています。

	■主指導教員	稲森 正彦 教授	■研究テーマ	●医療面接・医療コミュニケーションに関する解析	●医療倫理・プロフェッショナリズムに関する教育研究	●専門医教育への医学教育理論の導入に関する研究	●働き方改革を見据えた医療職の環境についての教育研究	●EBMおよび医用技術のIT化と教育への応用分析
	■指導教員	飯田 洋 講師		●外部評価・第三者評価に関する教育研究	●消化管機能的疾患(IBSなど)・呼吸法に関する教育研究	●東洋医学に関する教育研究		
	■特別研究科目名	医学教育学						

## 公衆衛生学

連絡先 TEL : 045-787-2610 E-mail : koushu\*yokohama-cu.ac.jp

データサイエンスと疫学手法を応用して、保健医療上の課題に対してエビデンスを創出し、社会に還元することにより、新しい健康社会を実現することを目標としています。

	■主指導教員	後藤 温 教授	■研究テーマ	●「よこはま健康研究」やJPHC Study、JPHC-NEXTを用いた疫学研究				
	■指導教員	桑原 恵介 准教授 中山 泉 助教 荒川 裕貴 助教		●レセプト・DPCデータを活用した保健・医療政策の評価				
	■特別研究科目名	公衆衛生学		●横浜市や国と連携したエビデンスに基づく政策立案の研究	●分子疫学コホート研究やUK Biobankのゲノム情報を用いた疫学研究	●系統的レビュー・メタ解析、診療ガイドラインの研究	●健康行動・受診行動に関するランダム化比較試験	●若年者の健康に関する疫学研究



## 先端医科学研究センター

### ●プロテオーム解析センター

連絡先 TEL : 045-787-2519 E-mail : sanaka\*yokohama-cu.ac.jp

	■指導教員	木村 弥生 教授	■研究テーマ	●質量分析装置を中心としたプロテオーム解析技術の開発、がんを含む様々な疾患の診断や治療に有用な疾患関連タンパク質の探索などを行っています。



### ●バイオインフォマティクス解析センター

連絡先 TEL : 045-350-4538 E-mail : bioinfo\*yokohama-cu.ac.jp

	■指導教員	Jordan RAMILOWSKI 教授 Sakura Eri MAEZONO 助教	■研究テーマ	Data-driven, Multidisciplinary Computational Research.	
					●がんや免疫における遺伝子制御メカニズム: 疾患のメカニズムを解明する
				●新しいロングノンコーディングRNAの発見と機能解析: 未知の遺伝子の役割を探索する	●細胞間コミュニケーションネットワーク: マルチオミクスデータから細胞間の関連性を解明する



### ●トランスレーショナルリサーチ推進室

■研究テーマ 疾患モデルマウスや次世代シーケンサーを用いた腫瘍発生・転移機序に関する研究/臨床検体の研究利用のためのバイオバンク整備を行っています。

## その他

### ■RI研究センター 有澤 哲 助教

■研究テーマ 中枢神経系PET薬剤の研究開発、新たな放射性標識合成方法の研究などを行っています。また、学内で放射線同位元素を用いた実験を安全かつ快適に行えるようRI研究センターの管理維持を行っています。

### ■動物実験センター 中澤 正年 准教授

■研究テーマ 自己免疫疾患モデルマウスやアレルギー疾患モデルマウスを用いて、その発症機序や治療法に関する研究を個体レベル・細胞レベルで行っています。

### ■医療情報学 西井 鉄平 講師

■研究テーマ 急速に発展するICTを実装しつつ、安定性と利便性の高い病院情報システムを構築することが課題です。さらに、個人情報保護などの倫理規範のもと、病院情報システムに蓄積された膨大なデータを医療の質の改善や研究活動、病院経営へ活用することもテーマです。

※2025年4月時点の体制です。

※メールでお問い合わせの際は、アドレス内の「\*」を「@」に変えてお送りください。



## 血液・免疫・感染症内科学

連絡先 TEL : 045-787-2630 E-mail : sec1nai\*yokohama-cu.ac.jp

基礎研究と臨床研究の両面から、血液疾患・膠原病など難治性疾患の分子病態解明と新規治療開発を目指しています。一緒に未来の医療を創りましょう。



■ 主指導教員 中島 秀明 教授  
■ 指導教員 藤澤 信 病院教授  
大野 滋 病院教授  
桐野 洋平 准教授  
吉見 竜介 准教授  
國本 博義 講師  
他 准教授1名、講師1名、診療講師2名、助教8名  
■ 特別研究科目名 幹細胞免疫制御内科学

■ 研究テーマ  
● 白血病幹細胞の生成・維持機構の解析 ● 高リスク染色体異常を有するMDS/AMLの分子病態 ● 造血幹細胞・白血病幹細胞におけるミトコンドリア異常の機能解析 ● 骨髄系腫瘍における遺伝子変異プロファイルの臨床的意義の検討 ● 骨髄系腫瘍、悪性リンパ腫、多発性骨髄腫のレジストリ研究 ● ベーチェット病とVEXAS症候群のレジストリ研究 ● 全身性エリテマトーデスのレジストリ研究 ● 強皮症に対する血管新生療法



## 呼吸器病学

連絡先 TEL : 045-352-7962 E-mail : pulmo1\*yokohama-cu.ac.jp

最先端の基礎研究と臨床研究により、難治性あるいは標準治療では改善が見込めない病態を有する呼吸器疾患に対する病態の解明、治療法の確立を目指します。



■ 主指導教員 金子 猛 教授  
■ 指導教員 工藤 誠 准教授  
山本 昌樹 准教授  
小林 信明 准教授  
原 悠 講師  
堀田 信之 講師  
他 助教  
■ 特別研究科目名 呼吸器病学

■ 研究テーマ  
● びまん性肺疾患、閉塞性肺疾患における長期予後予測バイオマーカーの探索と診療レベル均てん化を目指した臨床研究  
● 肺癌の免疫療法・バイオマーカー開発と薬物耐性機序解明の研究  
● 疾患カテゴリーによらず臨床上で治療や診断の改善、有害事象の予測・減滅につながる研究  
● 喘息における気道上皮、平滑筋に対するサイトカインの相乗効果と制御に関する研究、気道上皮TRPV、TRPAの閾値変動のメカニズムに関する研究



## 循環器内科学

連絡先 TEL : 045-787-2718

虚血性心疾患、不整脈、構造的な心疾患等多くの循環器疾患を臨床・基礎の両面から研究しています。



■ 主指導教員 日比 潔 教授  
■ 指導教員 石上 友章 診療教授  
岩橋 徳明 准教授  
大塚 文之 准教授  
小西 正紹 准教授  
岡田 興造 准教授  
■ 特別研究科目名 循環器内科学

■ 研究テーマ  
● 心不全と微小循環障害の関連研究 ● 心不全患者の栄養、体組成、身体活動及び薬物治療  
● 弁膜症経カテーテル治療の研究及び橋渡し観察研究 ● 心房細動・大動脈弁狭窄症とアミロイドーシスの関連研究 ● 腸内細菌と動脈硬化の橋渡し研究 ● 大動脈弁狭窄症とPCSK9阻害薬 ● 肺高血圧の診断・治療方法 ● AIを用いた多分野横断的臨床研究 ● 画像診断による冠動脈疾患の病態解明



## 循環器・腎臓・高血圧内科学

連絡先 TEL : 045-787-2635 E-mail : azushima\*yokohama-cu.ac.jp

「門戸開放」、「研究重視」、「患者第一」を理念とし、包括的病態連関制御による心血管腎臓病克服のための領域横断的な臨床、教育、研究を展開しています。



■ 主指導教員 田村 功一 教授  
■ 指導教員 平和 伸仁 准教授  
涌井 広道 准教授  
小島 健護 講師  
金岡 知彦 診療講師  
小林 竜 診療講師  
他  
■ 特別研究科目名 病態制御内科学

■ 研究テーマ  
● 特定の遺伝子・分子・作用機序を起点とした心腎代謝連関病の病態基盤解明と革新的治療開発 ● レジストリ・EHRデータベース・リアルワールドデータ及びオミクス解析を活用した心腎代謝連関病の臨床研究と健康長寿実現に向けたエビデンス創出 ● 心腎代謝連関の病態解明に基づく新規治療開発に向けた基礎研究と臨床応用への橋渡し研究 ● 治療抵抗性重症動脈硬化症や多発性嚢胞腎などに対するリバーストランスレーショナル研究



## 消化器内科学

連絡先 TEL : 045-787-2326

増加の一途をたどるがんをはじめとし、消化器疾患の診断・治療について先進的医療の開発を行っています。さらに、その基礎的研究も精力的に行っています。



■ 主指導教員 前田 慎 教授  
■ 指導教員 森本 学 診療教授  
平澤 欣吾 准教授  
国崎 玲子 准教授  
三輪 治生 講師  
須江 聡一郎 講師  
■ 特別研究科目名 消化器内科学

■ 研究テーマ  
● 慢性炎症から発がんへのメカニズムの解明  
● 次世代シーケンサーを用いた消化器がんゲノム解析  
● がん発生・進展におけるストレス応答シグナルの関与  
● 発がんマウスモデルを用いたがんのトランスレーショナルリサーチ  
● 内視鏡を用いたがん診断法の開発と治療法への応用  
● 炎症性腸疾患の病態解明と新規分子標的薬の開発  
● 消化器がん治療におけるバイオマーカーの探索



## 肝胆膵消化器病学

連絡先 TEL : 045-787-2640 E-mail : shin800m\*yokohama-cu.ac.jp

臨床から基礎まで幅広く研究を行っています。現在、消化管・肝臓・胆膵・がんゲノムの4つのグループに分かれて研究を行っています。グループ間での交流も盛んです。



■ 指導教員 米田 正人 准教授  
日暮 琢磨 准教授  
加藤 真吾 准教授  
長谷川 翔 講師  
■ 特別研究科目名 肝胆膵消化器病学

■ 研究テーマ  
● 大腸癌モデルマウスを用いた腫瘍発生・増大因子の検討 ● 消化器癌の化学予防法の開発 ● ウイルス肝炎、脂肪肝炎の病態解明と新しい治療法の開発 ● 代謝障害が及ぼす肝細胞癌の病態進展機序の解明 ● 肝細胞癌に対する低侵襲治療、支持療法に関する研究  
● 自己免疫性膵炎の病態解明 ● 先進的な内視鏡診断・治療法の開発  
● Leaky Gutの病態解明 ● 腫瘍局所の免疫調節細胞の解析



## 内分泌・糖尿病内科学

連絡先 TEL : 045-787-2639 E-mail : terauchi\*yokohama-cu.ac.jp

糖尿病などの生活習慣病と内分泌疾患の診療を担当、糖尿病の病態解明や新規治療法開発に関する研究を推進しています。未来の医療と一緒に創造しませんか。



■ 主指導教員 寺内 康夫 教授  
■ 指導教員 富樫 優 講師  
京原 麻由 助教  
奥山 朋子 助教  
新井 正法 助教  
白川 純 客員教授  
■ 特別研究科目名 分子内分沁・糖尿病内科学

■ 研究テーマ  
● 膵β細胞量調節の分子メカニズムの解明と膵β細胞量増加薬の開発  
● 2型糖尿病、肥満症、メタボリックシンドロームの成因と病態の解明と治療法の開発  
● 高脂肪食誘導性肥満における糖代謝異常の分子メカニズムの解明  
● 糖尿病治療薬の作用機序の解明  
● 脂質代謝異常の病態の解明と治療法の開発  
● 糖尿病、肥満症、メタボリックシンドロームに関わる臨床研究・疫学研究の企画立案と実行・論文文化



## 神経内科学・脳卒中医学

連絡先 TEL : 045-787-2725 E-mail : ftanaka\*yokohama-cu.ac.jp

神経変性疾患、神経免疫疾患を中心に、分子病態解明・治療法開発の基礎研究から脳画像解析をはじめとする臨床研究まで幅広く展開し、神経難病の克服に取り組んでいます。



■ 主指導教員 田中 章景 教授  
■ 指導教員 土井 宏 准教授  
東山 雄一 准教授  
宮地 洋輔 講師  
高橋 慶太 講師  
中村 治子 助教  
他 助教5名  
■ 特別研究科目名 神経内科学

■ 研究テーマ  
● 神経変性疾患モデル(マウス・iPSC)に基づく新規治療法開発 ● 網羅的ゲノム解析に基づく神経疾患の病因遺伝子の同定 ● 免疫性神経疾患の分子病態解明と新規治療法開発  
● 神経疾患の新規バイオマーカー開発 ● 神経変性疾患の病理学的研究 ● 神経疾患の臨床的高次脳機能解析 ● 神経疾患の先端的画像研究 ● 神経生理学的(筋電図)研究 ● てんかんの臨床研究 ● パーキンソン病脳深部刺激療法の臨床研究



## がん総合医科学

連絡先 TEL : 045-787-2623 E-mail : yoncol\*yokohama-cu.ac.jp

ヒトの試料を用いたがん研究を広く行いたいと考えています。特に希少がんとして知られる神経内分泌腫瘍に関する研究と一緒に始めてくれる若き研究者を募集いたします。



■ 主指導教員 市川 靖史 教授  
■ 指導教員 小林 規俊 准教授  
大久保 直紀 助教  
露木 翔 助教  
廣島 幸彦 連携  
大学院客員准教授  
窪田 賢輔 教授  
■ 特別研究科目名 がん総合医科学

■ 研究テーマ  
● 抗がん治療、緩和治療に関わる臨床的研究  
● がん治療に関わる社会医学的研究  
● 抗がん治療に関わる有害事象のメカニズムに関する研究  
● 神経内分泌腫瘍の診断、治療に関する研究  
● がんに関わるマイクロRNAに関する研究  
● 神経内分泌癌の悪性度に関係する遺伝子変異についての研究



## 外科治療学

連絡先 TEL : 045-787-2645 E-mail : お問い合わせください

外科全般(消化器、心臓血管、呼吸器、内分泌・乳腺)を包括する教室で、遺伝子などの基礎的研究から臨床研究まで幅広い分野を研究しています。



■ 主指導教員 齋藤 綾 教授  
■ 指導教員 湯川 寛夫 准教授  
禹 哲漢 准教授  
菅沼 伸康 准教授  
南 智行 講師  
足立 広幸 講師  
風間 慶祐 講師  
他 診療講師(2名)、助教(9名)  
■ 特別研究科目名 外科治療学

■ 研究テーマ  
● 固形癌全般における病期と予後に関するプロテオミクス及び遺伝子学的研究 ● 遺伝子学的検討に基づいた固形癌に対する臓器横断的創薬研究 ● 抗がん剤治療における多施設共同前向き試験 ● 消化器術後の栄養に関する研究 ● 大動脈瘤発生に関する遺伝子学研究  
● 成人先天性心疾患に関する研究 ● 性差医療を考慮した外科治療  
● National Clinical Databaseに基づく冠動脈外科治療に関する研究



※メールでお問い合わせの際は、アドレス内の「\*」を「@」に変えてお送りください。



## 消化器・腫瘍外科学

連絡先 TEL : 045-787-2650 E-mail : dai2geka\*yokohama-cu.ac.jp

消化器・乳腺腫瘍に関する基礎・臨床研究、敗血症・臓器不全の発症メカニズムの解明にフォーカスしています。



■主指導教員 遠藤 格 教授  
■指導教員 秋山 浩利 診療教授  
松山 隆生 准教授  
小坂 隆司 准教授  
本間 祐樹 准教授  
山田 顕光 准教授  
■特別研究科目名 消化器・腫瘍外科学

■研究テーマ  
●消化器癌・乳癌の発生と進展の研究 ●肝切除後肝再生・肝不全の発生機序の研究 ●消化器癌手術における腹腔洗浄液を用いたLiquid biopsy ●消化器癌における免疫回避機構 ●肝門部外科局所解剖の胆道癌手術への応用 ●感染性DICからMODSへの進展機構 ●癌の進展機序に及ぼす腸内細菌叢の影響 ●トランスクリプトーム解析を用いた消化器癌・乳癌の多様性 ●AIを活用した消化器癌リスク診断モデルの構築



## 麻酔科学

連絡先 TEL : 045-787-2918 E-mail : anesthes\*yokohama-cu.ac.jp

手術の安全を確保し、痛みから患者さんを開放する麻酔を一手に担うとともに、集中治療やペインクリニック、救急医療、緩和医療も行っています。



■主指導教員 後藤 隆久 教授  
■指導教員 水野 祐介 診療教授  
高木 俊介 准教授  
佐藤 仁 准教授  
長嶺 祐介 准教授  
東條 健太郎 准教授  
■特別研究科目名 生体制御・麻酔科学

■研究テーマ  
●急性呼吸促進症候群および多臓器不全症候群の研究 ●周術期使用薬剤の肺循環系に及ぼす作用の研究 ●全身麻酔薬の包括的行動評価研究 ●周術期データベース構築と周術期管理が手術後に与える影響の研究 ●慢性腰痛に対する手術療法の心理的研究 ●日本版遠隔集中治療の構築に関する研究 ●集中治療室におけるデジタルデータ利活用の研究 ●周術期看護導入の医療安全および経済的研究



## 救急医学

連絡先 TEL : 045-787-2800 E-mail : qq\_sec\*yokohama-cu.ac.jp

救急での臨床から得られた問題点や課題に立脚し、基礎研究、臨床研究(介入・観察研究)を駆使しながら問題解決の糸口を探ります。



■主指導教員 竹内 一郎 教授  
■指導教員 大井 康史 准教授  
小川 史洋 講師  
谷口 隼人 講師  
西井 基継 講師  
■特別研究科目名 救急医学

■研究テーマ  
救急医学教室では臨床と基礎研究の両面から医学の発展に貢献しています。COVID-19重症化予測と予後規定因子の解明研究ではAMEDから大型研究費を獲得。心筋炎における新たな分子免疫機序の解明と治療法の確立、難治性心筋症・心不全の機序解明と新治療開発にも取り組んできました。東北大学との共同研究によるヤギを用いたVV-ECMO実験も継続中です。2025年からは分子生物学教室へ大学院生を派遣し、分子レベルでの救急病態解明と革新的治療法開発を目指し日夜研究に取り組んでいます。



## 脳神経外科学

連絡先 TEL : 045-787-2663

脳・脊髄を中心に、腫瘍、血管障害、外相、脊髄変性疾患、小児、機能疾患などを対象として、幅広く中枢神経疾患に関する研究を行っています。



■主指導教員 山本 哲哉 教授  
■指導教員 立石 健祐 准教授  
末永 潤 講師  
中居 康展 講師  
佐藤 充 診療講師  
他 助教  
■特別研究科目名 脳神経外科学

■研究テーマ  
●脳腫瘍の遺伝子異常に基づく治療法の開発に関する研究  
●脳虚血性障害の病態解明と治療法に関する研究  
●機能再建にむけた神経再生療法に関する研究  
●画像解析による脳機能局在と可塑性に関する研究  
●脊髄損傷の病態解析と機能再建に関する研究  
●てんかん外科学に関する基礎および臨床研究  
●悪性脳腫瘍に対する粒子線治療に関する放射線生物学的研究



## 産婦人科学

連絡先 TEL : 045-787-2691 E-mail : emiyagi\*yokohama-cu.ac.jp

全国有数の診療研究規模の大学病院の産婦人科として、先進・高度な診療を附属2病院で提供しつつ基礎研究からの社会実装につながる研究の推進にエネルギーを注いでいます。



■主指導教員 宮城 悦子 教授  
■指導教員 榎原 秀也 教授  
村瀬 真理子 診療教授  
青木 茂 診療教授  
葉山 智工 准教授  
水島 大一 准教授  
■特別研究科目名 生殖生育病態医学

■研究テーマ  
●婦人科腫瘍の基礎的・臨床的研究  
●女性生殖器官、生殖機能異常の病態生理学的研究  
●先天異常モニタリングに関する研究  
●産婦人科領域における社会医学的研究  
●産婦人科領域における遺伝医学的研究  
●子宮筋腫・腺筋症に関する基礎的・臨床的研究  
●産期病態医学に関する研究



## 小児科学

連絡先 TEL : 045-787-2670 E-mail : ycuped\*yokohama-cu.ac.jp

胎児・新生児から小児(中には成人まで)の患者を対象に、健診や予防接種などで健康を維持し、また発症した疾患を総合的に治療します。



■主指導教員 伊藤 秀一 教授  
■指導教員 野澤 智 講師  
柴徳生 客員准教授  
辻本 信一 講師  
内村 暢 助教  
渡辺 重朗 助教  
■特別研究科目名 発生成育小児医療学

■研究テーマ  
●急性白血病のゲノム解析、DNAメチル化解析、トランスクリプトーム解析 ●急性白血病の新規候補薬剤の探索研究 ●川崎病、小児リウマチ疾患の病態解明研究 ●川崎病と腸管微生物の研究 ●学校心臓検診の改善のための研究 ●小児てんかんの病態生理の研究 ●Population pharmacokineticsを用いた臨床小児薬理学研究 ●エコチル調査を用いた疫学研究



## 泌尿器科学

連絡先 TEL : 045-787-2679 E-mail : お問い合わせください

泌尿器領域疾患を対象として基礎研究・臨床研究・外科治療・薬物治療に幅広く取り組み、よりよい医療の開発を積極的に推進しています。



■主指導教員 横山 和秀 教授  
■指導教員 蓮見 壽史 准教授  
伊藤 悠城 講師  
湯村 寧 診療教授  
寺西 純一 准教授  
河原 崇司 講師  
■特別研究科目名 泌尿器科学

■研究テーマ  
●泌尿器科がん(腎、膀胱、尿路、前立腺、精巣など)の発生・進展の分子機構の解明と診断・治療への展開研究  
●家族性腎癌の遺伝子解析および病態解明の研究  
●男性内分泌学、生殖医学研究  
●生殖発生工学、再生医学研究  
●医工連携研究  
●動物モデルを用いた排尿機能研究



## 運動器病態学

連絡先 TEL : 045-787-2655 E-mail : miyatake.kaz.fi\*yokohama-cu.ac.jp

骨、関節、筋、神経の病変を対象とした分野で、これらの組織や器官の外傷、骨軟部腫瘍、変性疾患、感染症などの研究と診療に取り組んでいます。



■主指導教員 稲葉 裕 教授  
■指導教員 崔 賢民 准教授  
池 裕之 講師  
伊藤 陽平 診療講師  
根津 悠 助教  
宮武 和馬 助教  
■特別研究科目名 運動器病態学

■研究テーマ  
●変形性膝関節症の進行予防に関する基礎的研究 ●変形性膝関節症における力学的負荷が関節軟骨と半月板に及ぼす影響についての分子生物学的探索 ●人工関節の形態及び設置位置の最適化に関する力学的解析 ●骨軟部腫瘍の診断と治療に関する研究 ●新規薬物療法開発に適した肉腫患者モデルの開発 ●整形外科感染症に対する分子生物学的診断法の確立 ●動作解析を用いた運動器疾患の病態の解明と治療法の模索



## 形成外科学

連絡先 TEL : 045-787-2709 E-mail : お問い合わせください

形成外科学では体表の形や機能の回復・再建を行う外科治療を担っています。患者さんのQOL(生活の質)を高めることを目標に、末梢神経再生に関する基礎研究にも取り組みます。



■主指導教員 林 礼人 教授  
■指導教員 森 裕晃 助教  
三木 亭人 助教  
安藤 由菜 助教  
大久保 亜貴 助教  
■特別研究科目名 形成外科学

■研究テーマ  
●末梢神経再生の促進に関する研究 ●人工神経など新規移植材料を用いたより有効な神経再建手法に関する研究 ●リンパ浮腫の病態と治療に関する研究 ●微小血管外科による再建手術に関する研究 ●顔面変形や乳房再建に対する培養軟骨や脂肪組織由来幹細胞移植といった再生医療に関する研究 ●血管腫・血管奇形に対する血管内治療のより新有効な治療法の開発 ●皮膚軟部良悪性腫瘍に対する効果的な外科的治療に関する研究



## 放射線診断学

連絡先 TEL : 045-787-2696

CT、MRI、核医学による画像診断およびIVRを行っています。形態・機能診断から分子イメージングまで分野横断的に研究を展開しています。



■主指導教員 宇都宮 大輔 教授  
■指導教員 加藤 真吾 准教授  
小山 新吾 講師  
石渡 義之 講師  
飯塚 均 助教  
加藤 亜結美 助教  
他 助教7名  
■特別研究科目名 放射線診断学

■研究テーマ  
●心臓血管イメージングにおけるCT およびMRI の臨床応用  
●デュアルエナジーCTの臨床応用に関する研究  
●頭部MRI による脳腫瘍診断に関する研究  
●人工知能による画像診断の効率化および精度向上に関する研究  
●PET による分子イメージングの開発的研究  
●画像診断に関するメタ解析



※メールでお問い合わせの際は、アドレス内の「\*」を「@」に変えてお送りください。



## 放射線治療学

連絡先 TEL : 045-787-2694

悪性腫瘍に対して最先端の高精度放射線治療から緩和照射まで幅広い放射線診療を提供し、先進的な放射線腫瘍学の基礎および臨床研究を行っています。



■主指導教員 幡多 政治 教授  
 ■指導教員 小池 泉 講師  
 高野 祥子 助教  
 杉浦 円 助教  
 池田 新 助教  
 繁永 大 助教  
 ■特別研究科目名 放射線治療学

■研究テーマ  
 ●高精度放射線治療の治療成績に関する臨床的研究 ●次世代粒子線治療の調査研究  
 ●希少がんにおける放射線治療法の標準化 ●RI 内用療法の研究 ●悪性腫瘍の放射線治療効果予測・評価に関する分子腫瘍学的研究 ●四次元解析法による照射精度向上に関する基礎的および臨床的研究 ●放射線生物学に関する基礎的研究  
 ●遠隔放射線治療計画による診療サポート体制の構築 ●放射線治療が社会生活にもたらす影響と課題



## 精神医学

連絡先 TEL : 045-787-2667 E-mail : t\_asami\*yokohama-cu.ac.jp

児童から高齢者まで、こころの病気に関する幅広い診療を行っています。また、これらの病気の病態・予防に関する研究や、社会復帰プログラムの開発も努めています。



■主指導教員 浅見 剛 教授  
 ■指導教員 野本 宗孝 講師  
 藤田 純一 講師  
 井出 恵子 講師  
 服部 早紀 助教  
 永露 毅 助教  
 ■特別研究科目名 精神医学

■研究テーマ  
 ●不安症(パニック症)の神経画像研究 ●精神疾患の分子生物および薬理学的研究 ●自殺対策にかかわる社会的・生物学的要因に関する研究 ●パーチャルリアリティを用いた暴露療法に関する研究 ●うつ病を対象とした復職支援プログラムに関する研究 ●統合失調症のリハビリテーションプログラムに関する研究 ●児童思春期の精神病理の解明と疾病予防に関する研究 ●ゼブラフィッシュを用いた向精神薬副作用に関する基礎研究



## 眼科学

連絡先 TEL : 045-787-2683 E-mail : ophusirc\*yokohama-cu.ac.jp

大学病院が果たすべき診療、教育、研究の分野に精力的に取り組み、眼科領域全般にわたり、重症疾患患者の受け入れ・治療に専念しています。



■主指導教員 水木 信久 教授  
 ■指導教員 野村 英一 准教授  
 山田 教弘 准教授  
 上本 理世 講師  
 中村 寿太郎 助教  
 追野 卓士 助教  
 他 助教3名  
 ■特別研究科目名 視覚器病態学

■研究テーマ  
 ●多因子遺伝性眼疾患を対象としたゲノムワイド関連解析  
 ●遺伝性眼疾患の多発家系を対象としたエクソーム解析  
 ●多因子遺伝性眼疾患におけるポリジェニックリスクスコアの構築  
 ●疾患責任遺伝子のゲノム編集による疾患発症動物モデルの作製  
 ●眼疾患患者の大規模データベースの構築および臨床疫学研究



## 視覚再生外科学

連絡先 TEL : 045-253-5372 E-mail : tanaka\_s\*yokohama-cu.ac.jp

ようこそ、視覚再生外科学へ。網膜の難病の治療の研究を一緒にやりましょう。



■主指導教員 門之園 一明 教授  
 ■指導教員 井上 麻衣子 准教授  
 井上 達也 講師  
 田中 慎 助教  
 北畑 将平 助教  
 勝部 志郎 助教  
 ■特別研究科目名 視覚再生外科学

■研究テーマ  
 ●視細胞、色素上皮細胞の再生機能の評価 ●網膜血管内手術の開発 ●網膜血管の循環障害の研究 ●加齢黄斑変性の先進的治療の開発 ●分子標的薬の網膜疾患への臨床研究 ●網膜疾患の画像解析 ●マイクロサージャリーの先駆的手術の開発 ●マイクロロボットの開発の研究



## 耳鼻咽喉科・頭頸部外科学

連絡先 TEL : 045-787-2687 E-mail : ycu\_ent\*yokohama-cu.ac.jp

耳鼻咽喉科は頭頸部疾患の内外科両面から医療を扱う科です。視覚・嗅覚・味覚といった感覚器と、音声・呼吸・嚥下という重要な生理的機能が集中している領域です。



■主指導教員 折館 伸彦 教授  
 ■指導教員 畠山 博充 診療教授  
 佐野 大佑 准教授  
 荒井 康裕 講師  
 佐藤 要 助教  
 ■特別研究科目名 頭頸部生体機能・病態医学

■研究テーマ  
 ●頭頸部がんの集学的治療に関する研究 ●頭頸部がんの予後予測に関する研究 ●頭頸部がん細胞の転移メカニズムの研究 ●HPV 関連中咽頭がんの遺伝子修飾に関する研究 ●切除断端の迅速診断に関する研究 ●音声外科手術・嚥下機能評価に関する研究 ●難聴の原因遺伝子に関する研究 ●アレルギー性鼻炎の診断と治療の研究



## 皮膚科学

連絡先 TEL : 045-787-2675 E-mail : yokohama\_derma\*yokohama-cu.ac.jp

皮膚免疫疾患、アレルギー疾患、悪性腫瘍を主に扱います。丁寧な臨床から得られる視点を大切に、病態解明や治療につながる研究に力を注ぎます。



■主指導教員 山口 由衣 教授  
 ■指導教員 渡邊 裕子 講師  
 渡邊 友也 講師  
 高村 直子 助教  
 乙竹 泰 助教  
 石川 秀幸 助教  
 他 助教  
 ■特別研究科目名 環境免疫病態皮膚科学

■研究テーマ  
 ●難治性自己免疫疾患(強皮症、皮膚筋炎、エリテマトーデスなど)の病態解明、免疫制御研究  
 ●線維化病態の解明と新規治療開発  
 ●乾癬の病態解析、レジストリ研究、および新規治療開発  
 ●ステーブンス・ジョンソン症候群、中毒性表皮壊死症などの重症薬疹における重症化因子の特定、免疫制御研究  
 ●皮膚悪性腫瘍(悪性黒色腫、乳房外Paget病)のゲノム・治療研究  
 ●自己免疫性水疱症の病態と治療に関する臨床研究



## 口腔外科学

連絡先 TEL : 045-787-2659 E-mail : kouku\*yokohama-cu.ac.jp

口腔外科学教室は口腔顎顔面領域に発生した菌性感染症、顎骨骨折、顎変形症、口腔がん、人工歯根など様々な疾患の診療と研究を行っています。



■主指導教員 光藤 健司 教授  
 ■指導教員 來生 知 診療教授  
 岩井 俊憲 准教授  
 小泉 敏之 講師  
 小栗 千里 講師  
 高須 曜 講師  
 ■特別研究科目名 顎顔面口腔機能制御学

■研究テーマ  
 ●進行口腔癌に対する超選択的動注化学放射線療法の有用性に関する研究  
 ●口腔癌、頸部リンパ節転移に対するハイパーサーミアの有用性に関する研究  
 ●磁性造影剤を用いた早期口腔癌におけるセンチネルリンパ節同定法に関する研究  
 ●CAD/CAM ガイドを用いた顎変形症手術における上顎骨の位置決めに関する研究  
 ●数値流体力学による歯科口腔外科領域の流体現象の観察  
 ●癌微小環境を標的とする治療法の開発



## リハビリテーション科学

連絡先 045-787-2713 E-mail : ihatama3\*yokohama-cu.ac.jp

リハビリテーション科学では、疾患などによって低下した身体機能の改善のため、運動を中心とした治療効果や機序解明の研究に取り組んでいます。



■主指導教員 中村 健 教授  
 ■指導教員 牛尾 会 准教授  
 ■特別研究科目名 リハビリテーション医学

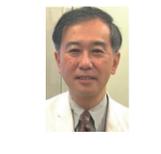
■研究テーマ  
 ●運動効果のメカニズムと効果増強に関する研究 ●運動負荷量と必要栄養量に関する研究  
 ●週術期患者に対する運動負荷と栄養負荷の効果に関する研究 ●心疾患患者に対する身体機能と効果的な運動療法に関する研究 ●ICU管理患者における身体機能と効果的な運動療法に関する研究 ●電気刺激療法法の骨格筋への影響に関する研究 ●障がい者スポーツにおける競技力向上に関する研究 ●心臓血管術後患者における摂食嚥下障害に関する研究



## 総合診療医学

連絡先 TEL : 045-787-2706(医局)、045-350-8865(太田教授)

「総合診療」は古くて新しい分野です。生物・心理・社会の三方向からアプローチする包括的な視点での臓器横断的診療と研究を行っています。



■指導教員 太田 光泰 教授  
 日下部 明彦 准教授  
 石塚 晃介 助教  
 (センター病院)  
 ■特別研究科目名 総合診療医学

■研究テーマ  
 ●問診・身体診察の操作特性に係る研究 ●患者受療行動に係る研究 ●診断推論法および診断推論教育に係る研究 ●総合診療初診外来の遠隔診療に係る研究 ●総合診療に係るinfodemiology ●総合診療に係る社会医学的研究 ●緩和ケア領域の研究 ●終末期医療に係る研究 ●多職種連携に係る研究 ●在宅医療に係る研究 ●ACPに係る研究

※メールでお問い合わせの際は、アドレス内の「\*」を「@」に変えてお送りください。